

断想のメモ「熱帯夜覚めやらず」

松川 涙紅

MATSUKAWA Ruikou

あつみ あたみ
温海・熱海と熱くなってきた

2015,5,13, 陽は正に君の頭上
新らためて 賞美・叙勲 おめでとう！
(傘・讃・寿の花傘音頭や)

著者が著書を胸に
陛下へパントマイム…
一念 天に通ず
夢か現実か
向き合って下さった人間天皇…
視線の中に居る君が浮かぶ…
新らためて「ブライズ先生、ありがとう」である
涙紅、官兵衛の気分？
(依 (酔) って、昨夜は涙紅も盃スクール入学！)

温海の金ボタン、掛け違いは無かった！ (歌人、鴻巣市)

(上田注：今回、陛下拝謁に際して、拙著『ブライズ先生、ありがとう』を胸に持っていたら或いは陛下が気づかれるのでは、と電話してきたのは、松川氏である。英国人ブライズ先生は、学習院大学教授で、陛下の皇太子時代に約 20 年間、英語の家庭教師を務められた方である。海外では、禅や俳句の紹介者として有名である。)

金ボタンの糸電話

松川 涙紅

MATSUKAWA Ruikou

今版の華、叙勲者・宗片兄・否・上田兄との出会いは、蛍雪の高一「人生意気に感ず」の十五の春、64 年前である。当時の「毎日中学生新聞」に私の拙い短歌が、時には温海の木

松川 涙紅、
松川 歩々路

断想のメモ「熱帯夜覚めやらず」、金ボタンの糸電話
上田邦義会長ご受勲祝賀エッセイ

校舎で心に留めてくれ、大宮の北中宛便りしてくれた貴兄、高一早々の春、英語弁論大会の東北代表として上京するので大宮辺りで会わんかとなり、束の間の二時間、氷川の杜で熱きを語り青き夢を見た。改札で「又」を約して名刺代りに高校の受験写真を交わした。「又」を約してから64年…糸電話は切れていなかった。

昨年の子供の日、千駄ヶ谷の国立能楽堂で当時の金ボタン少年はキセル？の再会を果した。

孫が私の古いアルバムから鋭く美少年の貴兄を見つけて「？」問うてきたので然々と答えながら、「俺の周りには居ないタイプ、何かやりそうな男だから指定席でおもてなししているのだ」と笑った時、孫が検索してくれ、びっくり。孵化のビッグニュース。指定席で良かった六感、当時詠んだ短歌を思い出した。「選ぶより選んでくれた友こそが真の友かと十五この春」

上田兄。あゝ青春！第二章開幕である！

益々、公私の花舞台、熱くいこう！

上田邦義会長ご受勲祝賀エッセイ

松川 歩々路（水越 結子）

MATSUKAWA Poporo（MIZUKOSHI Yuiko）

上田先生、この度は叙勲の栄に浴され、誠におめでとうございます。

一昨年夏、熱海で開催された国際融合文化学会の例会にお招きいただき、そこで初めて先生にお目にかかりました。ホールに入ると、先生は和装・正座で、爽やかに仕舞の手ほどきをされていていらっしゃいました。緊張した私をあたたく迎えてくださったことを大変ありがたく感じ入っております。

例会開会のご挨拶のなかで、先生は「結果よりも、何を目指して生きているかの方が大切です」とおっしゃいました。このお言葉を、悩みに振り回されているとき等、折々に思い返します。直々にご指導いただいた幸運を、大切な思い出として留めて、元気の源としたいと思います。上田先生のご健勝とますますのご活躍をご祈念申し上げます。

（さいたま市）